

こんにちは、BLRの飯田です。いつも大変お世話になってます。

しばらく夏季休暇でこのメルマガもご無沙汰しておりましたが、お盆の間はいかがだったでしょうか？

私は前半はまあ、猛暑、酷暑という言葉がぴったりの暑さの中、近場に出歩いていましたが、外で長時間いるのは危険なために、結局は映画や美術館、寄席、飲みなどの涼しい場所でのインナーレジャーに終始しておりました。



中盤は危険を顧みずゴルフを予定しておりましたら、折からの台風直撃で中止となり、結局は飲み会だけ実施するなど、不健康な過ごし方をしていましたが、その中であってやっぱり高校野球は面白いですね。一日4試合とも見てしまうような日が何日もありました。

見ごたえがあり、どこが優勝するのか楽しみです。打の履正社か投の星稜か。

監督の投手起用の戦略も重要になってきます。戦略って本当に大切ですよね。

選手の出来、不出来にかかわらず、試合の勝ち方、そのものですので、これは監督の仕事になります。会社でいえば社長の仕事、どうやって地域ナンバー1になるか、このメルマガをヒントに戦略を練っていただければ幸いです。

さて、ここからが本編です。

今回から、少し長期戦になりますが、「ランチェスター戦略」に基づいた地域密着で成功するための戦略について、少しずつ、お話ししていきたいと思えます。

まず、そもそもランチェスター戦略ってなんだ？という方がおられると思えますので、その周辺からお話ししていきたいと思えます。

少しご年配の経営者の方は、多分ご存じだと思いますが、戦後にアメリカがこの戦略を用いて、日本軍に勝利したといううわさが広まり、一時、ランチェスターブームになりました。

その当時はあのアメリカが採用した戦略？日本が勝てなかった戦略？ということで大変なブームになりました。

しかし、所詮、戦争の理論だったので、応用は難しいと下火になりましたが、その戦争理論を経営やマーケティングに変換して日本型のランチェスター戦略を作ったのが、日本の田岡先生ですが、それがそもそもの初まりです。

色々な戦略思考が流行ってはきますが「競争の原理」「卓越した戦略」「ブランディング」なども言葉は違えども、基本的には共通していると思えます。一つの戦略思考を深く勉強すれば、それで十分だと思えます。名前のランチェスターはランチェスターさんと言うイギリス人です。

ランチェスター先生自体はそもそも、1900年初期のイギリスの技術者で自動車会社を経営し、ランチェスターと言うブランドの車を作っていました。その傍ら、第一次世界大戦のころから起こった戦闘機による戦争が従来の戦争のやり方を一変させたために、この戦略の法則があるはずだと言



うことで、戦略法則を研究していました。

そして膨大な過去の戦略を紐解きながら劣勢軍の取るべき「第一法則」と優勢軍の取るべき「第二法則」を導き出しました。戦争理論であれば、これでいいのですが、これを経営やマーケティングに応用したのが、日本型のランチェスター戦略となります。

第一法則や第二法則は、また後述するとしても言わば劣勢軍の取るべき戦略がランチェスターの代名詞の「弱者の戦略」と言うこととなりますが、この弱者の戦略をとってコツコツと実践していけば、地域でナンバー1になる確率が高くなります。(実際にそうなりましたので、楽しみですね。)

「弱者って、うちは弱者じゃない。失礼な。」とよく言われますが、自動車であればトヨタ以外は皆弱者であり、コンビニであればセブンイレブン以外は弱者です。ですから恥じることもなく、誇りをもってこの戦略を実践していくことが重要だと思っています。

次に戦略とは何ぞや？と言うことですが、語源はギリシャの「ストラテジア」(将軍の術)と言うこととなります。将軍=社長の術として、軍全体の勝ち方を決めていくこととなります。

これは見えない部分の方針に関することが多くなります。どの地域でどんな客層にどのような商品を販売していくかのターゲットを決めたり、見込み客の獲得方法、やOB客の維持の仕方など、大きな視点で会社全体のやり方を決定する、まさに社長の術となります。

明治のころには戦略を「見えざるもの」として紹介していました。そうです。社長の頭に入っているか、もしくは事業計画書に書かれているくらいで、具体的には見えないものですね。

その反意語は、今度は「戦術」ですがこれも語源はギリシャ語の「タクティクス」(兵士の術)となりこちらは目に見えるものとなり、実際に手や足を動かしたりして、実行するもの(チラシ・ホームページや営業面談、施工管理、会計等)は全て戦術となります。

こちらは目に見えるので、すぐに真似されてしまいます。一時的にうまくいっても長続きしないのが戦術です。

そして、戦略と戦術のウェイトはおよそ、8対2となりますので、社長はまずは重要な戦略の部分のしっかりと勉強して、固めた後に具体的な戦術を作っていくやり方が正しい順序となります。戦術の失敗は戦略で吸収できるが、戦略の失敗は戦術では吸収できないと言われるのも、この重要性をよく物語っています。

今回はランチェスター戦略の用語についての解説となりましたが、来週からはランチェスター戦略の全体像について、少しずつお話をしていきたいと思っております。

今日も最後まで読んでくれてありがとうございます。

次週からは「ランチェスター戦略って何？ - 2」の作り方についてお話していきたいと思っております

---

<次回> 「ランチェスター戦略って何？ - 2」

